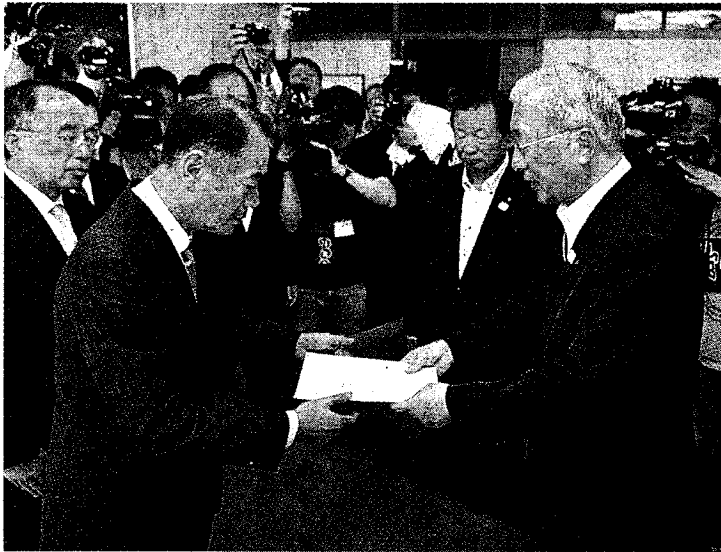


原発3号機審査申請

松江市中電に了承回答

中国電力島根原発3号機(松江市鹿島町片匂)の原子力規制委員会への新規制基準適合性審査申請に關し、中電から安全協定に基づく事前了解の申し入れを受けた立地自治体の松江市が5日、中電に申請を了承すると回答した。

同市末次町の市役所を訪れた清水希茂社長に対し、松浦正敬市長が「今回は審査を受けることについて了承したい」と説明。新規稼働の是非を含む最終的な了解の可否は、審査後にあらためて判断すると伝えた。申請了承に合わせ、松浦市長は、新たな知見の反映▽審査状況などの丁寧な情報提供▽協力会社の職員を含む組織全体の安全文化の醸成と情報の公表▽避難計画の実効性向上のための要員派遣や資機材提供―など7項目を要請。点検不備など人為的な不祥事が相次い



島根原発3号機の審査申請を了承する回答書を清水希茂社長(左)に手渡す松浦正敬市長―松江市末次町、市役所

だことに触れ、職員訓練の強化も口頭で求めた。清水社長は面会後の取材に対し、「5月22日に事前了解願いを出して以降、最大限いろいろな場で説明させていただいてきた」と強調。原発30km圏内の5市と鳥取県の周辺自治体の意見

が求める住民説明会の追加開催は「今のところ考えていない」と話し、公民館訪問やホームページ、広報誌などでの説明を継続するとした。3号機の新規稼働で代替するとして山陽側の火力発電所の休廃止箇所についても「決めたものではなく明示的に話せる状態ではない。機微なところがあり、相当に準備した上で発表する」と述べた。(井上蒼文)

可否申請 溝口知事は論拠説明を 県議会総務委 主体的判断求める

島根県議会総務委員会(池田一委員長、9人)が5日、中国電力が事前了解を申し入れた島根原発3号機の原子力規制委員会への新規制基準適合性審査申請に關し、可否判断時に県民に論拠を示すよう溝口善兵衛知事に求めることを決めた。関係自治体の意見を聞いて判断する考えの知事への不満が背景にあり、主体的な判断を迫った形。6日

が出そろってから可否判断を示す方針の島根県の了承を得られ次第、遅滞なく規制委に審査申請する考えを示した。周辺自治体の判断が出そろるのは8月以降になる見通しとなっている。一方、清水社長は市民ら

知事は6日の本会議で、県の判断は示さず、立地自治体の松江市と、原発から30km圏内の5市、鳥取県の意見が出そろった後に県としての結論を出す考えを明らかにするとみられる。総務委終了後、池田委員長は「周辺自治体が容認したので、島根県も容認というのではなく、可否判断の論拠や考えを知事が主体性をもって説明しなければ、県民は納得できない」とけん制した。

総務委は賛成多数で審査申請を容認しており、県議会は6日の本会議でも賛成多数で採択する見通しになっている。(高橋利明)